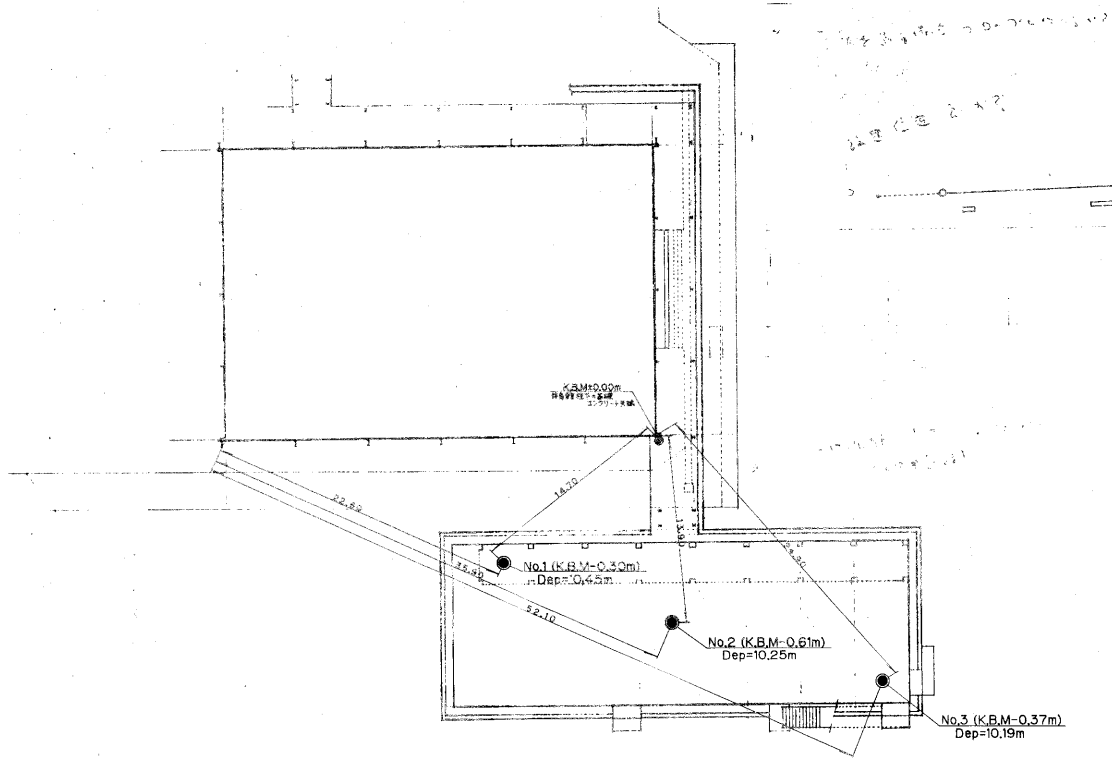




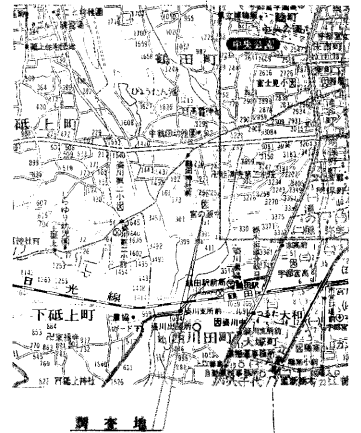
● 調査地

Soil

# 調査地点位置図

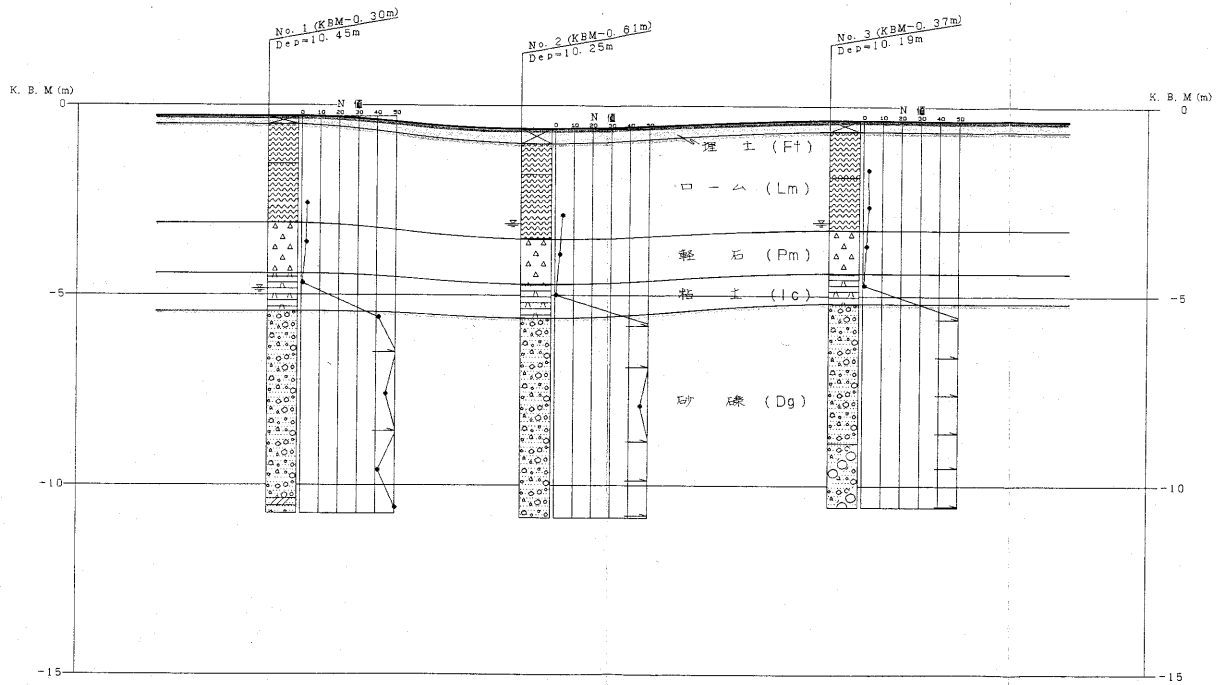


## 案内図



工事名	沼津市立沼津中学校技術的職業科工事設備調査
工事場所	沼津市立沼津中学校 沼津町 267-3
縮尺	S=1:200 図面番号
製図	棟 梁
株式会社 上質基礎コンサルファーム	

# 地層推定断面図



工事名	(仮称)宮の原中学校技術科教室新築工事地質調査		
工事場所	栃木県宇都宮市鶴田町 261-3		
縮尺	V=1:100 H=1:200	図面番号	
製図		検閲	
株式会社 土質基礎コンサルタンツ			

第 図 土質柱状図

備考  
○ …… 標本番号

調査名 (仮称) 宮の原中学校技術科教室新築工事地質調査  
ボーリング方法 ロータリ式  
調査位置 栃木県宇都宮市鶴田町261-3  
地点番号 No. 1 標高 K.B.M-0.30 m 調査年月日 62年 5月 15日 ~ 月 日  
孔内水位 G.L-4.55 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験					
									深度 (m)	N 値 (回)	10 cm 毎の打撃回数			(N 値)
									10	20	30	40	50	
	-0.30	0.00	0.20			埋土	褐灰	砂、ローム、礫で構成される。						
1	-1.55	1.25	1.05			ローム	暗褐	凝灰岩片を混入する。① 若干粘土質である。 極めて少量の浮石、スコリアを混入する。						
2														
3	-3.10	2.80	1.55			ローム	褐灰	②						
4	-4.45	4.15	1.35			浮石	黄褐灰	③ 鹿沼土である。 若干粘土質である。						
5	-5.45	5.15	1.00			凝灰質粘土	褐灰	④ 凝灰物を混入する。 粘性やや強い。						
6								⑤ 全体に粘土が混じる。 凝灰岩及び火山礫が主体である。						
7								⑥ 6.80m 逸水する。 平均φ2~40mm 程度の礫が主体である。						
8								⑦						
9														
10	-10.35	10.05	4.90			砂礫	褐灰	下部玉石が混じる。						
11	-10.75	10.45	0.20			粘土質中砂	褐灰	⑧ 雲母が混じる。 小礫を混入する。 φ2~40mm 程度の火山礫が多い。						
12														
13														
14														
15														

第 四 土質柱状図

備考  
○ …… 標本番号

調査名 (仮称) 官の原中学校技術科教室新築工事地質調査  
 調査位置 栃木県宇都宮市鶴田町261-3  
 地点番号 No. 2 標高 K.B.M-0.61 m 調査年月日 62年 5月16日 ~ 月 日  
 孔内水位 G.L.-2.50 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記 事	標準貫入試験						
									深度 (m)	N 値 (回)	10 c m 毎の打撃回数	(N 値)			
									10	20	30	40	50		
	-0.60	0.00													
	-1.01	0.40	0.40			埋 土	褐 灰	砂、ローム、礫で構成される。							
1	-1.81	1.20	0.80			ロ ー ム	暗褐灰	植物根を混入する。 小礫を混入する。	①						
2								若干粘土質である。 極めて少量の浮石、スコリアを混入する。	②	2.15	4	1	2	1	
3	-3.51	2.90	1.70			ロ ー ム	褐 灰			2.45	30	10	12	8	
4	-4.71	4.10	1.20			浮 石	黄褐灰	鹿沼土である。 若干粘土質である。	③	3.15	3	1	1	1	(2.6)
5	-5.61	5.00	0.90			凝灰質粘土	褐 灰	凝灰岩及び小が主体である。 粘りや強い。	④	4.15	1	1			(0.6)
6								凝灰岩及び小が主体である。 平均φ2~40mm程度の礫が主体である。	⑤	4.65	50	50			
7									⑥	5.15	50	45	5		(54)
8									⑦	5.26	11	10	1		
9								9.00m付近硬質粘土を薄く挟む。	⑧	6.15	50	16	20	14	
10	-10.86	10.25	5.25			砂 礫	褐 灰		⑨	6.43	28	10	10	8	
11										7.15	46	15	19	12	
12										7.45	30	10	10	10	
13										8.15	50	32	18		(88)
14										8.32	17	10	7		
15										9.15	60	15	30	15	(68)
										9.37	22	10	10	2	
										10.15	50	50			(100)
										10.25	10	10			

第 図 土質柱状図

調査名 (仮称) 官の原中学校技術科教室新築工事地質調査  
 調査位置 栃木県宇都宮市鶴田町261-3  
 地点番号 No. 3 標高 K.B.M-0.37 m 調査年月日 62年 5月18日 ~ 月 日  
 孔内水位 G.L.-2.70 m 担当者名

備考  
 ○ ..... 標本番号

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記 事	標準貫入試験							
									深度 (m)	N 値 (回) 貫入量 (cm)	10 cm 毎の打撃回数 (N 値)					
									10	20	30	40	50			
	0.37	0.00	0.30			埋 土	暗 褐	砂、ローム、礫で構成される。								
1	-0.67	0.30				ローム	暗 褐	上部植物根、小礫を混入する。	1.15	3	1	1	1			(2.6)
2	-1.87	1.50	1.20			ローム	暗 褐	若干粘土質である。極めて少量の浮石、スクリアを混入する。	1.50	35	15	10	10			
3	-3.27	2.90	1.40			浮石	褐 灰	鹿沼土である。若干粘土質である。	2.15	3	1	1	1			
4	-4.42	4.05	1.15			凝灰質粘土	褐 灰	極めて少量の浮石を混入する。粘性やや多い。上部凝灰岩が多く混じる。	2.45	30	10	10	10			
5	-5.22	4.85	0.80			砂 礫	褐 灰	礫は火山礫が多い。平均φ2~40mm程度の角礫が主体である。	3.15	2	1	1				
6						玉石混じり砂礫	褐 灰	若干粘土が混じる。φ70~80mm程度の玉石が混じる。	3.50	35	18	17				
7									4.15	1	1					
8									4.55	40	40					
9	-8.87	8.50	3.65						5.15	50	29	21				(79)
10	-10.56	10.19	1.69						5.34	19	10	9				
11									6.15	50	22	28				(75)
12									6.35	20	10	10				(100)
13									7.15	50	32	18				
14									7.30	15	10	5				
15									8.15	50	30	20				(94)
									8.31	16	10	6				
									9.15	50	50					(100)
									9.16	1	1					(100)
									10.15	50	50					(100)
									10.19	4	4					